

「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく
霞ヶ浦流域の減災に係る取組方針

取組実施状況（令和 6 年度）
～代表事例～

- 目次 - (名簿順)

主な取組項目		表題	頁
減災のための目標		協議会全体	1
概ね5年で実施する取組		協議会全体	2
協議会の開催経緯		協議会全体	3・4
避難指示の発令に着目したタイムラインの作成	タイムラインに基づく実践的な訓練	石岡市	5
避難行動、水防活動排水活動に資する基盤等の整備	防災行政無線テレホンサービスの周知、水防資機材の購入・訓練実施等	龍ヶ崎市	6
避難指示の発令に着目したタイムラインの作成	マイ・タイムライン作成講習の実施	鹿嶋市	7
逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組み	スマホ等を活用した情報発信及び、情報発信ツールを活用した避難訓練を実施する	稲敷市	8
避難行動、水防活動排水活動に資する基盤等の整備	内水被害危険箇所の対策、移動式排水ポンプ車の整備及び防災アプリの導入	かすみがうら市	9
逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組	洪水避難訓練	神栖市	10
迅速かつ的確な避難のための取組	洪水ハザード内の防災訓練及び災害時対応における訓練等の実施	行方市	11
逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組	地域住民の適切な避難行動を支援するための取組み	鉾田市	12
逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組	避難指示の発令に着目したタイムラインの作成	小美玉市	13
避難指示の発令に着目したタイムラインの作成	「マイ・タイムライン」作成講習の実施	美浦村	14
洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組	洪水浸水想定区域住民を対象に避難訓練を実施	阿見町	15
自助力・共助・公助力向上を目的としたソフト対策の主な取り組み	阿見町合同広域避難訓練・AEDやマイタイムラインの防災啓発活動	河内町	16
逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組	タイムラインに基づく実践的な訓練	利根町	17
避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	防災教育や防災知識の普及	茨城県	18・19
逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組	自治体の防災対応力向上に係る支援	水戸地方 气象台	20
防災教育や防災知識の普及	水防災に関する説明会の開催・広報の実施	鉾子地方 气象台	21
逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組	潮来市総合防災訓練（洪水）	霞ヶ浦 河川事務所	22
逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組	神栖市総合防災訓練（洪水）	霞ヶ浦 河川事務所	23
防災教育や防災知識の普及	「家族で守る！地域で守る！みんなで学ぼう防災講座」～マイ・タイムライン講習会～ -稲敷市-	霞ヶ浦 河川事務所	24

■ 5年間で達成すべき目標

霞ヶ浦における大規模水害に対し、
「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」を目指す！

■ 目標を達成するための3つの取組

1. 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
2. 洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組
3. 一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組

※大規模水害＝想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水氾濫による被害

※逃げ遅れ＝立ち退き避難が必要なエリアからの避難が遅れ孤立した状態

※社会経済被害の最小化＝大規模水害による社会経済被害を軽減し、早期に経済活動を再開できる状態

1) ハード対策の主な取組

- 洪水を湖・河川内で安全に流す対策
- 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

2) ソフト対策の主な取組

① 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■ 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

- ・ 想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表
- ・ 協議会において広域避難計画（案）の策定
- ・ 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知
- ・ まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充
- ・ 要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進

■ 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成

- ・ 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成
- ・ タイムラインに基づく首長も参加した実践的な訓練
- ・ 気象情報発信時の「危険度の色分け表示」や「警報級の現象になる可能性の情報提供」や「メッシュ情報の充実化」等の改善

■ 防災教育や防災知識の普及

- ・ 水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の設置
- ・ 水防災に関する説明会の開催
- ・ 教員を対象とした講習会の実施
- ・ 小学生を対象とした防災教育の実施
- ・ 出前講座等を活用した講習会の実施
- ・ プッシュ型の洪水予報等の情報発信
- ・ 水位計やライブカメラ等の情報をリアルタイムで提供
- ・ 許可工作物管理者への防災教育の実施

② 洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

■ より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

- ・ 水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施
- ・ 水防団同士の連絡体制の確保
- ・ 水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検
- ・ 関係機関が連携した実働水防訓練の実施
- ・ 水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進
- ・ 地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築
- ・ 内水被害危険箇所の把握及び情報共有

③ 一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組

■ 緊急排水計画（案）の作成及び排水訓練の実施

- ・ 排水機場・樋門・水門等の情報共有、排水手法等の検討を行い、排水ポンプの設置箇所の選定まで行った大規模水害を想定した排水計画（案）の作成
- ・ 排水訓練の実施
- ・ 内水被害危険箇所の排水計画（案）の作成

「水防災意識社会」の再構築に向けた取組 ～緊急行動計画の改定及び推進に関する整理～

協議会全体

霞ヶ浦流域大規模氾濫に関する減災対策協議会の開催状況

概ね5年で実施
する取組を提示

H28.5.30
第1回協議会

H28.8.31
第2回協議会

H29.5.31
第3回協議会

H30.5.29
第4回協議会

R1.5.27
第5回協議会

R2.4.16
第7回協議会
(幹事会)

R2.5.13
第6回協議会

R2.8.11
第7回協議会

R3.2.17
第8回協議会
(令和2年度 第2回)
(幹事会)

R3.4.26
第9回協議会
(幹事会)

R3.5.27
第8回協議会

R3.11.19
第10回
協議会 (幹事会)
(令和3年度 第2回)

R4.04.28
第11回協議会
(幹事会)

R4.06.10
第9回協議会

R5.04.26
第12回協議会
(幹事会)

R5.6.21
第10回
協議会

R6.04.24
第13回協議会
(幹事会)

R6.5.22
第11回
協議会

目標の設定

取組方針の策定

目標の設定

取組方針の策定

対策実施・フォローアップ

平成28年

平成29年

平成30年

平成31年
(令和元年)

令和2年

令和3年

令和4年

令和5年

令和6年

要配慮者利用施設での死者が発生(H28.9.1撮影)



平成28年2月利根川水系霞ヶ浦河川整備計画策定

水害ハザードマップ
作成の手引き改訂

タイムラインの作成推進

川の防災情報リニューアル

平成28年8月台風に伴う豪雨災害
洪水浸水想定区域の公表

社会資本整備審議会 答申

水害危険性の周知
方策検討会

洪水情報のツッシュ型配信一部開始

再構築ビジョンの中小河川等への拡大

ホットライン検討会

水防法一部改正

再構築に向けた緊急行動計画

「水防災意識社会再構築」の更なる推進



高梁川水系小田川での被害状況(H30.7.7撮影)

タイムラインの
防災計画等への位置づけ等

大規模氾濫減災協議会の創設

平成30年7月西日本豪雨災害

社会資本整備審議会 答申

住民自らの行動に結びつく水害・土砂災害
ハザード・リスク情報共有プロジェクト

大規模広域豪雨を踏まえた水災害対策

緊急行動計画の改定・大規模氾濫減災協議会の適用改訂



久慈川水系久慈川での被害状況(R1.10.13撮影)

国土審議会：国土の長期展望専門委員会(第二回)資料5より引用

令和元年10月東日本台風災害

社会資本整備審議会 答申

「気候変動を踏まえた水災害対策のあり方」をとりまとめ

社会資本整備審議会 答申

令和2年7月西日本・東日本豪雨災害

霞ヶ浦流域治水協議会開催

「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」が閣議決定

特定都市河川浸水被害対策法等の一部を改正

災害対策基本法等の一部を改正(5月20日施行)

社会資本整備審議会 答申

「河川機械設備のあり方」をとりまとめ

特定都市河川の指定による流域治水の本格的実践

大河川から中小河川まで地域の洪水の危険度が一目で分かる
洪水キキクルと水害リスクラインをR5年2月16日に一体化

協議会全体

R7.04.24
第14回協議会
(幹事会)

R7.5
第12回
協議会（予定）

目標の設定
取組方針の策定

目標の設定
取組方針の策定

[illegible]

避難指示の発令に着目したタイムラインの作成

- ・ タイムラインに基づく実践的な訓練

【令和6年度に実施した内容】

- ・ 出水期前に霞ヶ浦及び恋瀬川流域における浸水想定区域を有する地区において地域防災訓練を実施

浸水想定区域内による防災訓練

柿岡地区・恋瀬川流域地域防災訓練
(令和6年6月23日実施)



防災土による水害に対する講話の様子

高浜地区地域防災訓練
(令和6年6月30日実施)



参加者による土のう作製実習の様子

避難行動、水防活動排水活動に資する基盤等の整備

・ 防災行政無線テレホンサービスの周知、水防資機材の購入・訓練実施等

【令和6年度に実施した内容】

・ 水防資機材（水のう・止水板）の配備と設置訓練の実施

・ 防災行政無線テレホンサービスの市民向け周知用マグネットカード配布

水防資機材の配備と防災行政無線テレホンサービスの周知

水防資機材の配備と設置訓練の実施

防災行政無線テレホンサービスの周知



▲ L字型止水板
「ボックスウォール」



▲ 令和6年8月25日（日）実施
大型水のう「タイガーダム」展張訓練

防災行政無線放送の放送内容を確認できる「放送テレホンサービス」を防災アプリやメール配信サービスを利用できない方に利用してほしいと周知用マグネットを作成しました。

冷蔵庫など目立つところに貼ってお使いください！



こちらで配布しています！

- 各コミュニティセンター
- 防災安全課（市役所3F）

※数に限りがあります。ご了承ください。

◀ 広報用チラシの一部

令和5年6月の大雨災害をはじめ、今後は小貝川などの大規模河川のみではなく、市内の中小河川の越水による住宅浸水等のリスクが大いに想定されることから、河川の越水を迅速かつ効果的に防ぐ水防資機材として「水のう」（6本）及び「止水板」（34枚）を配備した。購入後、8月25日に龍ヶ崎消防署・龍ヶ崎市消防団・市役所が連携し、龍ヶ崎市役所駐車場にて浸水被害発生時の水のう設置手順を確認する「水のう設置訓練」を実施した。

携帯電話等を持たない等の理由で、市の「防災アプリ」やメール配信サービスによる放送内容確認が難しい市民の方々にも、遺漏なく市の防災情報をお届けするために、冷蔵庫等への貼り付けが可能となるマグネットシートによる案内を作成した。高齢者に多く読まれる市の広報誌にも配布場所等の案内を記載し、周知を進めた。

【令和6年度に実施した内容】

- ・自治会を対象としたマイ・タイムライン作成にかかる出前講座
- ・マイ・タイムライン等の広報活動
- ・災害時の情報収集方法の一つとなる防災アプリ講習会

避難指示の発令に着目したタイムラインの作成

出前講座



広報・周知活動



防災アプリ講習会



自治会や小・中学校等を対象に出前講座を開催。マイタイムライン（我が家のタイムライン）の作成・活用や洪水等の風水害災害について理解を深めてもらう。

洪水ハザードを考える日事業として、洪水ハザードを有する地区住民に対し、マイ・タイムライン配布のほか、鹿嶋市ハザードマップを公共施設（公民館など）に配架。

洪水ハザードを有する地区での防災訓練では、避難所となる施設や防災倉庫の確認と併せて、洪水等災害時の情報収集方法の一つとして、「Yahoo! 防災速報」などの防災アプリの紹介を実施。

逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組み

- ・スマホ等を活用した情報発信及び、情報発信ツールを活用した避難訓練を実施する。

【令和6年度に実施した内容】

当市では、防災無線戸別受信機の導入から相当年経過し、修理対応も困難なため情報発信手段を模索しておりましたが、令和4年度から稲敷公式アプリを導入し、災害時の情報発信にも活用しています。

導入後は、デジタルデバイド対応に苦慮していましたが、稲敷公式アプリ開発業者と協議・検討を続け、今年度、IP戸別受信端末を導入しました。

IP戸別受信端末の機能

- 稲敷市公式アプリ発信情報の音声での受信機能
- 発災時の安否確認機能

今後は、避難行動要支援者等の対応へも活用できればと、福祉部局との協議・検討をしていく予定です。

防災情報の発信媒体



稲敷市公式アプリ



- ・市からのお知らせ
- ・防災行政無線の放送内容
- ・ゴミ収集日程
- ・休日当番医
- ・広報稲敷
- ・デジタル窓口

などを確認できます。

ダウンロードはこちらから



IP戸別受信端末



電源を入れておけば、**自動**で防災行政無線の内容や市からのお知らせを**音声**にて流れます。

※数量に制限があるため、一定の条件にて配布させていただきます。ご希望の方は、危機管理課までお問合せください。

※防災行政無線戸別受信機の修理対応は令和5年3月31日をもって終了しております。防災行政無線戸別受信機は市から貸与しているものになります。不要になった場合は、危機管理課、もしくは各支所へ必ず返却してくださいますようお願いします。

- ・ 内水被害危険箇所の対策、排水ポンプの準備（移動式排水ポンプ車の整備及び防災アプリの導入）

【令和6年度に実施した内容】

- ・ 台風や大雨による河川の氾濫などによる浸水被害への対応を強化するため、新たに災害対応用の移動式排水ポンプ車を導入
- ・ 出水期に備え、自主防災組織、防災士、地元消防団、災害協定を交わしている市建設業協会、市職員などを対象とした「移動式排水ポンプ車操作講習会」を実施
- ・ 市民が防災行政無線を補完するため、その放送内容をスマートフォンで受信できる「防災アプリ」を導入

「移動式排水ポンプ車」



「移動式排水ポンプ車操作講習会」



「かすみがうら市防災アプリ」



- ・ 近年頻発する台風や大雨による河川の氾濫などによる浸水被害への対応を強化するため、新たに災害対応用の移動式排水ポンプ車を導入しました。本設備の導入は県内では6例目、県南地区では取手市に次ぐ2例目となります。

- ・ 出水期に備え防災士連絡協議会、自主防災組織、消防団、市建設業協会が参加し、機器の基本構造や操作手順の説明に続き、実際にポンプを起動し、ホースを使った排水作業を体験する実践訓練を行いました。

- ・ 風や雨で聞き取りづらい防災無線放送をアプリで音声でも文字で確認することができます。
- ・ 緊急放送（避難指示等）では**アプリを起動していなくても最大音量で通知**されます。

逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

・洪水避難訓練

【令和6年度に実施した内容】

■ 目的 ■

本訓練は、災害対策基本法、神栖市地域防災計画に基づき、市民・関係機関・市等が災害時における初動対応を確認するとともに、避難所の開設・避難者の受入訓練や各種訓練を実施することにより、市民一人ひとりの防災意識の高揚を図る。

● 対象地域

・波崎第三中学校区 20地区（5,497世帯、12,100人）_令和6年3月末時点

● 参加機関

・利根川下流河川事務所、霞ヶ浦河川事務所、陸上自衛隊、鹿島地方事務組合消防本部、神栖警察署、東日本電信電話(株)、東京電力パワーグリッド(株)、日赤アマチュア無線奉仕団、神栖市消防団、神栖市防火クラブ、神栖市防災士協議会、神栖市

● 訓練内容

①洪水避難訓練 ②避難所開設・避難者受入訓練 ③洪水対応車両展示 ④応急手当訓練 ⑤水難救助資機材展示
⑥煙体験訓練 ⑦自衛隊資機材展示 ⑧炊き出し訓練 ⑨応急給水訓練 ⑩マイ・タイムライン作成支援 ⑪防災啓発コーナー
⑫ペット同行避難 他

訓練風景



洪水避難訓練



利根川下流河川事務所による洪水対応車両の展示



マイ・タイムライン作成支援



ペット同行避難

迅速かつ的確な避難のための取組

- ・洪水ハザード内の防災訓練及び災害時対応における訓練等の実施

【令和6年度に実施した内容】

- ①消防団夏季訓練の一環として、6月に消防団員による風水害時に使用する土嚢作成を行った。
- ②台風等における浸水被害を想定した、地区防災訓練を7月に実施し、区長、民生委員、消防団による非常時の円滑な対応、連携の確認を行った。
- ③災害時における職員による避難所開設訓練及び避難所運営の確認を行った。

令和6年度に実施した内容

①消防団による土嚢作成
(消防団夏季訓練時)

消防団夏季訓練時に作成した土嚢は、災害時等に使用します。

②防災訓練
(マイタイムライン講話等)

防災訓練には、区長をはじめ、地元区の方々、民生委員、消防団、防災士、市職員が参加し、訓練を行った。訓練では、要配慮者の避難方法の確認、マイタイムラインの講話、救命講習などを実施しました。

③避難所開設訓練
(開設訓練等)

(コメント例)
市職員による避難所開設の際の確認及び避難所運営の際の備品等の取扱いの確認作業を行った。

- ・ 地域住民の適切な避難行動を支援するための取組み

【令和6年度に実施した内容】

- ・ 小学生を対象とした防災教育
- ・ 洪水浸水想定区域内の行政区長を対象とした個別説明
- ・ 洪水浸水想定区域内の住民を対象としたタイムライン作成支援

防災教育と防災訓練

防災体験学習



小学生を対象にVRゴーグルを活用した災害疑似体験を実施。



小学生を対象に避難所の資機材・備蓄食料の展示や関係機関による講話など、防災体験学習を実施。

マイタイムライン作成支援



防災訓練時に茨城県の出前講座を活用したマイタイムラインの作成支援を実施。

- ・「マイ・タイムライン」作成講習の実施

洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

- ・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検

【防災講座の実施】

市で開催した洪水ハザード地区を対象とした避難訓練や、市民コミュニティの集会などで防災講座を実施した。

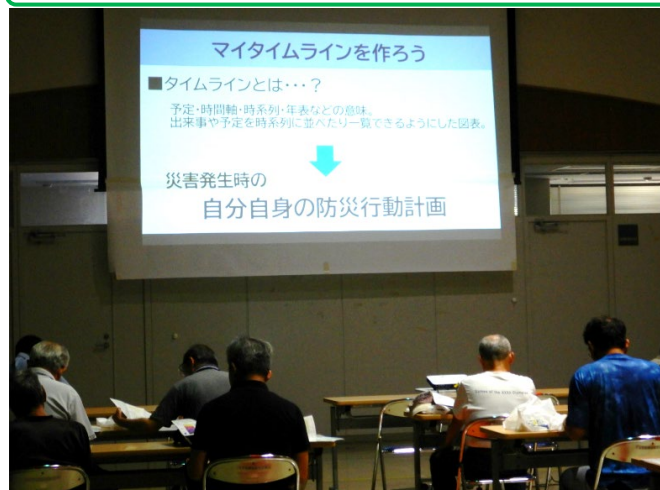
防災講座では、災害で市が被った被害や市内の危険箇所を伝えたほか、マイ・タイムライン作成演習の時間を設けた。

作成演習には、県から配布された「我が家のタイムライン」を資料として使用した。

【共同点検の実施】

消防と地元の消防団、地元の行政区長と霞ヶ浦沿岸の増水時の対応についての確認及び危険箇所及び施工箇所の点検を実施した。

マイタイムライン作成講習



市で開催した洪水ハザード地区の避難訓練で実施した防災講座。市内の危険箇所や実施中の土砂災害対策を紹介し、その中でマイ・タイムラインを作成する演習も行った。

マイタイムラインを作ろう

あなたが取るべき行動を考えてみましょう！

- ①ハザードマップで周辺の災害リスクを確認しましょう
- ②我が家のタイムラインを利用してタイムラインを作成しましょう

マイ・タイムライン作成演習の資料の一つ。市のハザードマップや「我が家のタイムライン」を参考に作るよう指示した。

共同点検



消防と地元の消防団、地元の行政区長と増水時の対応についての確認と、霞ヶ浦沿岸の危険箇所や嵩上げ工事の施工場所の点検を行った。

避難指示の発令に着目したタイムラインの作成

- ・ 主な取り組み項目（「マイ・タイムライン」作成講習の実施）

【令和6年度に実施した内容】

- ・ 浸水想定避難訓練時における「マイ・タイムライン」作成講習の実施。
- ・ 水防活動時を想定した、避難広報及び無線通信訓練の実施。

例：「マイ・タイムライン」作成講習・避難広報及び無線通信訓練の実施

マイタイムライン作成講習の開催



単独で行うのではなく、浸水想定避難訓練の中で、一つの項目としてマイ・タイムラインの作成講座を避難者に対して行った。



大型モニターを活用し、重ねるハザードマップをモニターに映し出し、体験者の自宅を表示してハザード情報の確認を実施。
紙で見るのではなく、見やすい画面で様々なハザード状況を確認することができ、講評であった。

避難広報及び無線通信訓練の実施



水防団配備の無線通信機器の通信確認及び使用技術の向上を目的として実施。
単方向無線での送受信のタイミングを確認。
また、避難広報活動を消防団車両のマイクを活用して実施。声のトーンや、聞き取りやすさを確認する。

- ・洪水浸水想定区域住民を対象に避難訓練を実施

【令和6年度に実施した内容】

令和6年6月29日（土）、洪水浸水想定区域の住民を対象に、町から避難指示が発令されたことを想定した避難訓練を実施した。

町登録制メールや区長への電話を合図に最寄りの避難所に避難してもらい、受付要領確認やエアベッド等の資機材組み立て体験を行った。

訓練には、対象となる6地区から42名の住民が参加した。併せて町職員も避難所開設等の手順を訓練した。

訓練には町内有志の防災士で組織された「防災アドバイザー連絡会」が立ち合い、避難に関する心構えや訓練に対する指導、助言を行った。

また、我が家のタイムラインの作成講座も訓練に盛り込み、参加者に一つ一つ説明しながら実際に書いてもらった。



車いすで避難した想定での受入れも行った



阿見町防災アドバイザーが訓練の講評を行った



我が家のタイムラインを一項目ごと詳細に説明した

- ・ 阿見町合同広域避難訓練
- ・ AEDやマイタイムラインの防災啓発活動

【令和6年度に実施した内容】

・ 町内の浸水想定区域内に居住する住所に対し、災害時の避難情報に基づいて迅速に避難できるように、町民や自主防災組織が参加し、避難訓練（阿見町受け入れ訓練）を行いました。

また、更なる自助、共助、公助力の向上を図るため、町内イベントにてAEDの使用方法や、マイタイムライン作成の呼びかけを行いました。

広域避難訓練の実施



7月21日（日）、「大規模水害時における避難所等施設利用に関する覚書」に基づき、阿見町合同の広域避難訓練を行いました。

また、避難先で防災士連絡会が三角巾、ベッド組立、ロープワークを指導しました。

マイタイムラインの作成呼びかけ



11月3日（日）、町内イベントにてマイタイムラインの作成呼びかけや、AEDの使用方法を指導しました。

また、防災士連絡会による防災備品の取り扱いや自主防災組織がアイデア防災グッズ（新聞紙スリッパ）を紹介しました。

逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

- ・ タイムラインに基づく実践的な訓練

【令和6年度に実施した内容】

- ・ 広域避難訓練を実施し、住民への周知を図る。
- ・ 水防災に関する説明会や、住民の方々を対象としたシンポジウム等の開催を行う。

自治体共同訓練（共催：牛久市）

牛久市への広域避難経路の確認



牛久市職員の協力のもと、牛久市への広域避難訓練を実施しました。

訓練参加者は、地区の代表者、防災士の方々と、マイ・タイムライン講習会受講後に、避難ルートの確認を行いました。

マイ・タイムライン作成講習会



町民を対象とした、「我が家のマイ・タイムライン作成講習会」を行いました。講習会では気象情報について、水害から身を守ること、いざという時の災害に備えて、自分たちはどのように行動するべきなのかを考え、町の洪水ハザードマップを見ながら、マイ・タイムラインを作成しました。

・メール配信サービスの運用開始

【令和6年度に実施した内容】

- ・近年、登録人数の上限を超え、情報発信にも時間を要していることから、新たにメール配信システムを改修し、令和6年より新システムの運用を開始した。
- ・新たに「地震情報」について配信するほか、「水防情報」などについても新たに配信を行っている。
- ・登録可能人数についても拡大し、水防関係職員に加え、消防団員（本部員、分団長等）の方の登録も可能。

メール配信内容

茨城県河川情報システム

水防関係者向け
メール配信
サービス

雨量観測情報
記録的短時間大雨情報
土砂災害警戒情報

水位観測情報
水位予測情報
水防警戒
指定河川洪水予報

気象警報・注意報
府県気象情報
水防警戒

地震情報
津波情報・注意報

迅速な情報を提供する

1 QRコードを読み取り、登録メールにアクセスします。

2 送信されたメールに記録されたアドレス(URL)にアクセスします。

3 登録完了！

suibou.ibaraki-pref@raidens3.ktaiwork.jp

茨城県土木部河川課

登録方法

「水防関係者向けメール」は、茨城県水防情報システムで取り扱っている雨量や水位の観測情報、水位予測情報、水防警戒、水位予測など、水防活動に資する情報、気象情報や地震・津波に関する防災情報を、速やかに関係機関にメールで配信するサービスです。メール配信を希望される方は、お持ちの携帯電話から登録することが必要になります。登録は以下の手順に則り簡単にできます。利用の水防活動に役立ててください。

登録手順

1 QRコードを読み取り、登録メールにアクセスします。

2 送信されたメールに記録されたアドレス(URL)にアクセスします。

3 配信を希望する項目を選択する。
※登録する項目は、登録する項目を選択する。登録する項目は、登録する項目を選択する。
※登録する項目は、登録する項目を選択する。登録する項目は、登録する項目を選択する。

4 内容を確認した上で登録を行います。

5 登録完了メールが届けられます。

登録できる端末

スマートフォン、携帯電話、タブレット、パソコンなど、メールアドレスがあれば登録できます。

その他

- ・既に入力したメールアドレスに間違いがないか、確認してください。メールアドレスは、登録する項目を選択する。
- ・水防関係者向けメールは、登録する項目を選択する。登録する項目は、登録する項目を選択する。
- ・送信元アドレスは、登録する項目を選択する。登録する項目は、登録する項目を選択する。
- ・登録するメールアドレスは、登録する項目を選択する。登録する項目は、登録する項目を選択する。
- ・登録するメールアドレスは、登録する項目を選択する。登録する項目は、登録する項目を選択する。
- ・登録するメールアドレスは、登録する項目を選択する。登録する項目は、登録する項目を選択する。

問合せ先 茨城県土木部河川課 029-301-4490

メール配信内容(1/2)

河川水位に関する情報

水位観測情報

水位観測情報(県)

水防警戒(県)

指定河川洪水予報(県)

水位観測情報(国)

水防警戒(国)

指定河川洪水予報(国)

メール配信内容(2/2)

雨量(降雨)に関する情報

雨量観測情報(時間)

記録的短時間大雨情報

雨量観測情報(追加)

土砂災害警戒情報

気象に関する情報

地震・津波情報

18

・小学生を対象とした防災教育の実施

令和6年度の取組状況

- 水害時の逃げ遅れによる人的被害ゼロに向け、住民が適切な避難行動を取れるようにするため、
- 「マイ・タイムライン」の普及に努めている。
- 特に令和4年度からは、国や市町村等と連携し、洪水ハザード内にある全小学校において
- 「マイ・タイムライン」の作成授業を実施しており、災害の怖さや自分の命は自分で守る“自助”の大切さを認識してもらうなど、防災教育に取り組んでいる。
- 令和6年度実績：全98校のうち61校について県で講師派遣予定（※）

※その他は国や市町村等で実施



マイ・タイムライン作成授業の様子

・自治体の防災対応力向上に係る支援

【令和6年度に実施した内容】

- ・各市町村防災担当者等の災害対応能力向上を目的とした講習会を実施。
- ・各種の防災気象情報を適切に理解し、避難情報発令のタイミングなどを検討する「気象防災ワークショップ」を開催。
- ・市町村が行う各種訓練へ参画し、シナリオ作成時の協力、訓練内でのホットライン、訓練後の講演等を実施。

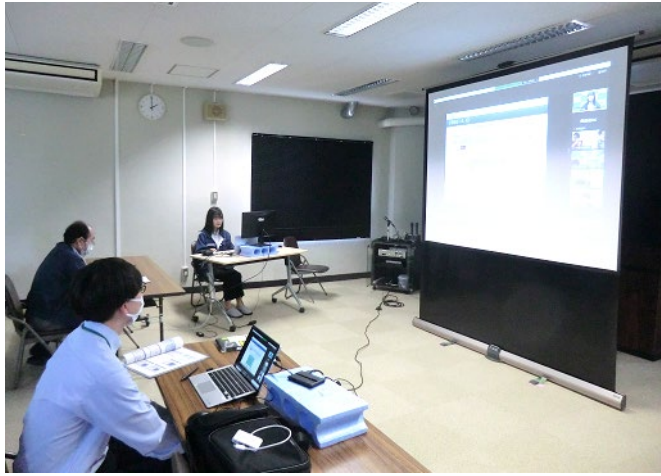
災害対応力向上を目的とした講習会

気象防災ワークショップ

市町村が実施する訓練への参画



茨城県が実施する「茨城県災害対応勉強会」に参画し、茨城県、茨城県市長会、茨城県町村会、水戸地方気象台の共催により「災害対応講習会」を実施した。また、水戸地方気象台が主催する防災気象連絡会を実施。その他、市町村が主催する研修会等の機会を通じて防災気象情報、地震情報に関する解説を行った。



気象台が発表する情報を参照しながら、防災体制、避難情報発令のタイミング等について、グループで相談・発表することにより、防災対応力の向上を図る。令和6年度は茨城県内の顕著現象を題材としたシナリオを作成し、このシナリオによるワークショップを実施した。



市町村が実施する災害対策本部運営訓練や、避難訓練にシナリオ作成段階から参画、訓練内でのホットライン、訓練後の講演等を実施した。

防災教育や防災知識の普及

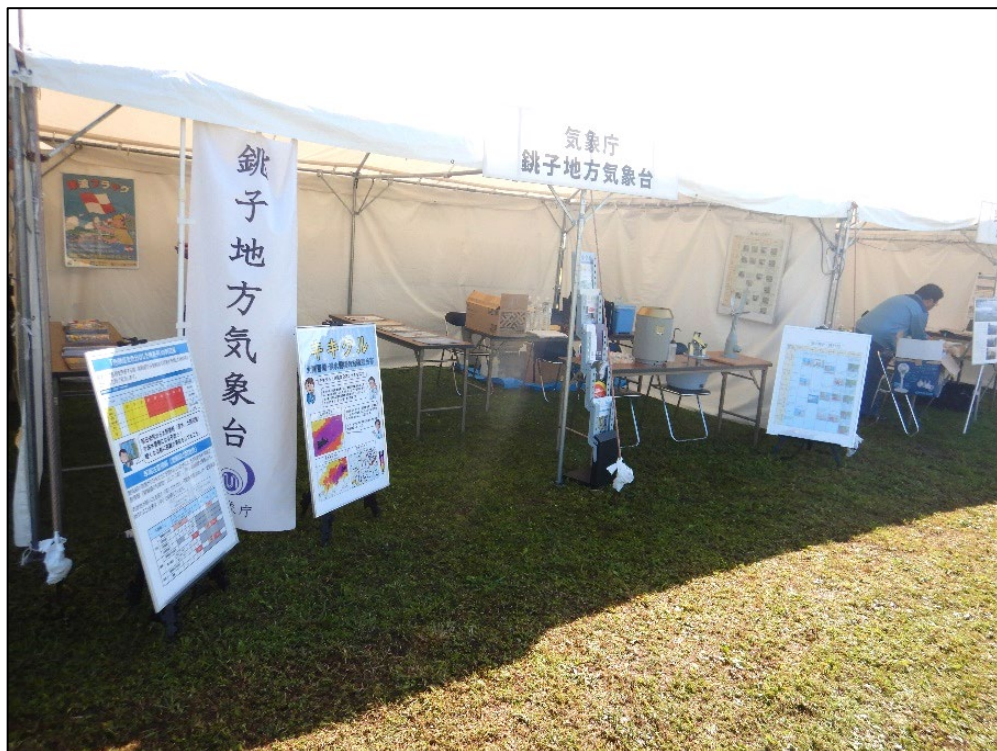
水防災に関する説明会の開催・広報の実施

・主な取り組み項目（利根川水系連合・総合水防演習参加）

【令和6年度に実施した内容】

5月18日に行われた「第72回利根川水系連合・総合水防演習」にブース出展し、大雨・強風や台風のパネルを展示した。また、**キキクル（危険度分布）**の説明やパンフレットなどの配布を行った。

また、雨量計等の観測機器の説明も行った。



・令和6年度潮来市総合防災訓練 -潮来市-

日 時：令和6年7月7日（日）8:30～11:00

場 所：潮来市立 津知小学校グラウンド

内 容：デジタルサイネージを用いた防災意識の向上に向けた啓発動画の放映。

防災訓練参加者を対象に「マイ・タイムライン」作成講習。

作成方法：「逃げキッド」を使用した作成。

水防担当：霞ヶ浦河川事務所 流域治水課職員。

「マイ・タイムライン」作成の要点

洪水発生を想定し、先ずはお住いの地域からハザードマップを参照し、最寄りの避難場所と避難経路を確認。

「いざ!」と言う時に必要な行動と、タイムラインに応じた事前の準備について説明を行いながら、**余裕をもった逃げ方**を心掛けて頂けるよう説明を行いました。

💡 危険な場所として、橋や崖、道路脇の溝や流れやすい物を何気ない日常から確認していると、浸水した際に役立ちます。



マイ・タイムライン作成の様子



排水ポンプ車の展示

逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

・令和6年度 神栖市総合防災訓練（洪水） -神栖市-

日 時：令和6年7月14日（日）9:00～11:00
 場 所：神栖市立 波崎第三中学校（メイン会場）
 内 容：デジタルサイネージを用いた防災意識の向上に向けた啓発動画の放映。
 防災訓練参加者を対象に「マイ・タイムライン」作成講習。
 作成方法：「逃げキッド」を使用した作成。
 水防担当：霞ヶ浦河川事務所 流域治水課職員。



神栖市 防災士協議会の防災士の方々と情報交換

・「家族で守る！地域で守る！みんなで学ぼう防災講座」～マイ・タイムライン講習会～ -稲敷市-

日時：令和7年2月2日（日）10:00～12:00
場所：稲敷市立 江戸崎中央公民館大集会室。
概要：「マイ・タイムライン」講習会の実施や「防災アニマル診断」の活用。
水防担当：霞ヶ浦河川事務所 流域治水課職員。

【「防災アニマル診断」とは】

資料に書かれている言葉が専門的で難しい一面もありますが、基本的には「**大人と子供**」でHow To形式（1問1答）で、ボードゲームを行うような感覚で取り組める自分を動物に例え、逃げ方を学ぶ資料です。
（動物を使った表現は一般的なイメージを想定しています）

例えるなら、**ライオン**は“**百獣の王**”と言われるように動物界のトップに君臨する頼もしい**リーダーのイメージ**。
それと比較するとハムスターは反比例して頼りない**弱いイメージ**になるかと思います。このように自分を動物のタイプ別に客観的に置き換えたイメージで意識を改善し、ロールプレイングを行いながら自然と防災知識を身に着ける、それが「**防災アニマル診断**」と考えて頂ければと思います。

※従来からの「逃げキッド」と比較して、見え方を含めた表現の違い以外は企画内容の全般に変更や違いはありません。

年代別防災意識調査の結果

動物タイプ	19歳未満	20歳以上40歳未満	40歳以上60歳未満	60歳以上80歳未満	80歳以上
ハムスター ふわふわタイプ	2	6	4	4	4
ペンギン なんとなくタイプ	3	3	3	3	3
パンダ うっかりタイプ	4	4	4	4	4
ラクダ おっとりタイプ	2	1	1	1	1
ゾウ しっかりタイプ	2	2	2	2	2
ライオン リーダータイプ	2	2	2	2	2

ご自身の防災意識はどのタイプでしたか。
該当するタイプにシールを貼ってください。

19歳未満 ● 20歳以上40歳未満 ● 40歳以上60歳未満 ● 60歳以上80歳未満 ● 80歳以上 ○

動物タイプ	19歳未満	20歳以上40歳未満	40歳以上60歳未満	60歳以上80歳未満	80歳以上
ハムスタータイプ	●	●	●	●	○
ペンギンタイプ	●	●	●	●	○
パンダタイプ	●	●	●	●	○
ラクダタイプ	●	●	●	●	○
ゾウタイプ	●	●	●	●	○
ライオンタイプ	●	●	●	●	○

ボードにシールを貼ってタイプ別のアンケート